



➤ 北海道全共への道② ～第13回全国和牛能力共進会「種牛の部」交配開始です！～

第13回全共「種牛の部」出品に向けた交配がスタートします。

第13回全国和牛能力共進会広島県対策協議会では、令和9年に開催予定の北海道全共に向け、出品候補牛の作出のため、次の交配案内をしておりますので、みなさまの御理解と取組をお願いします。

◎交配の留意点

- 交配する雌牛は ・改良組合内の飼養牛であること（2区、3区）
・産子が育種価資格本原牛であること
（父母のいずれかが本原登録牛または高等登録牛の場合を除く）

◎産子の取扱い

生産された雌子牛は、出品条件を確認し、農家巡回や予選会等で出品候補牛を選定します。保留を前向きに御検討ください。

- ・雄の場合、子牛市場へ出荷（候補外）
- ・雌の場合、保留または子牛市場出荷（候補外）

◎協力費等

【交配】3,000円/頭【分娩】15,000円/頭

交配協力費の申請・交付は、農協経由で行います。

出品区	出品頭数	交配種雄牛	交配期間
2区	1頭	県有種雄牛 （交配推奨牛： 福梶大柴、山根神竜※、 花勝百合） ※後代検定中	令和7年6月15日～9月14日
3区	1頭		令和7年3月17日～6月14日
6区	4頭	花勝百合	令和6年11月15日 ～令和7年6月14日 （★）

参考 県有種雄牛について

福梶大柴（85.8点）

（3柴沖茂 - 勝忠平 - 安福165の9）

第11回宮城全共の第1区候補牛であった、3柴沖茂の後継牛。体幅・体伸に優れ、体積感あふれる種雄牛。



山根神竜（84.8点）

（沖茂神竜 - 安福久 - 平茂勝）

全兄弟牛が県共枝肉の部で首席獲得し、質量ともに期待できる。本牛のもつ均称・体伸の良さを受け継ぐ産子が多い。



花勝百合については、6区（繁殖雌牛群）のみならず、2区および3区（単品区）も出品対象となります。

改良組合員の皆様におかれましては、より積極的な交配に御協力いただきますようお願いいたします。

花勝百合（83.4点）（美津百合 - 勝白 - 福栄）

美津百合のBMS能力と勝白の枝肉重量能力を受け継いだ、質量兼備の基幹種雄牛。
現場後代検定では、枝肉重量、脂肪交雑で歴代1位の成績。
育種価でも全形質で能力が高いと評価されている。



（★）6区については出品月齢を揃えた取組とするため、
令和7年2月1日～3月31日を集中交配期間としています。

マスコットキャラクター決定！



実行委員会が道民の方を対象に募集していたマスコットキャラクターが、280件を超える応募の中から、左のデザインに決定したとのことです。名称はまだ決まっていますが、宮城全共の「牛政宗」や鹿児島全共の「かごうしママ」同様、大会を盛り上げてくれる存在になりそうですね！

キャラクター紹介（全共公式サイトから引用）

イベントテーマにある「和牛の次なる一歩」から「和牛の未来」を連想し、未来の象徴として仔牛をモチーフにしました。共進会らしさを出すため、紫の花飾りとゆたんモチーフの前掛けをしています。また、北海道らしさを出すため、耳標を北海道の形にしています。

➤ 1日限定！路面電車で広島和牛料理と広島のお酒の美食会が行われました



（左上）原爆ドーム前を通るトランルージュ。（右上）お酒も入り、にぎわう車内。



（下）4種類の料理それぞれに合わせたお酒が出されました。



く、日本ソムリエ協会広島支部・川崎支部長によるペアリング講座も行われました。

地元企業の社長など参加者の方々は、窓の外を流れる広島市街の風景を眺めながら、肉割烹まさ岳（広島市南区）の平賀店主による比婆牛料理に舌鼓を打ちました。そのままでも十分おいしい料理とお酒ですが、それぞれの特徴やペアリングのポイントを聞くと、よりおいしく感じられたのではないのでしょうか。

県は、今後も広島和牛の魅力を広く伝える機会を作り、広島のお食の魅力を高める取組を進めて行くこととしています。

➤ 「高校牛児」たちが育てた和牛肉の実演販売を行いました

前号でお伝えした和牛甲子園の続報です！広島県から出場した2校が、大会に出品した肉の実演販売を行いました。

県立西条農業高等学校は令和7年2月9日（日）、ゆめモール西条（東広島市西条町）で、県立庄原実業高等学校は2月15日（土）にLECT（広島市西区）にてそれぞれ販売を行いました。週末ということもあり大勢の買い物客でにぎわう中、自分たちが育てたお肉をPRする生徒さんたちの元気な姿が見られました。

試食したお客様からは、「やわらかくておいしい」と好評で、広島和牛のおいしさはもちろん、広島の「高校牛児」たちの日々の努力をアピールする絶好の機会となりました。



（写真左）ゆめモール売り場の様子。西農肉牛部の取組を伝えるPOPがよく目立っています。（右）LECTにてテレビ取材を受ける庄実の生徒さんたち。

➤ 生産者の皆様へ ～ランピースキン病に注意しましょう！～

ランピースキン病は、皮膚の結節（しこり）を特徴とする牛の伝染病で、国内では昨年11月に福岡県と熊本県で初めて確認されました。この病気の死亡率は数%と低いものの、効果的な治療方法がなく、2次的な細菌感染を起こすこともあり、自然治癒するまでに長期間かかる場合もあります。

本病のウイルスは、感染牛の導入・移動、吸血昆虫による媒介のほか、ウイルスが付着した物品の持込みによって農場内に侵入します。だんだん暖くなるこれからの時期は、吸血昆虫の活動が活発になります。吸血昆虫は本病だけでなく、牛伝染性リンパ腫をはじめ他の病気を持ち込む可能性があるため、殺虫剤や防虫ネットなどの対策を強化して大切な牛を守りましょう！

ランピースキン病は、牛の病気であり、人に感染することはありません。また、この病気にかかっている牛の肉や乳が市場に出回ることはありません。

☆詳しくは、広島県ホームページで「ランピースキン病」で検索または管轄の畜産事務所にお問い合わせください。



《家畜を飼養・管理している皆様へ》 広島県からのお知らせ

- ◆家畜伝染病予防法に基づき、「定期報告書」を最寄りの畜産事務所に提出してください。
- ◆提出期限は、毎年4月15日となっています。
- ◆提出資料は、毎年2月1日時点の家畜の飼養状況・衛生管理基準のチェック表・農場平面図等です。資料は、広島県ホームページからダウンロードが可能です。広島県ホームページで「家畜伝染病予防法に基づく定期報告について」で検索してください。
- ◆提出は、郵送、ファクシミリまたは電子メールでお願いします。

畜産事務所名	電話番号／FAX	管 轄
西部畜産事務所	(082)423-2441／(082)424-1826	広島市、竹原市、東広島市、安芸高田市、熊野町、安芸太田町、北広島町ほか
東部畜産事務所	(084)921-1311／(084)921-1229	三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町
北部畜産事務所	(0824)72-2015／(0824)72-7334	三次市、庄原市

☆詳しくは、広島県ホームページで「飼養衛生管理基準」で検索または管轄の畜産事務所にお問い合わせください。

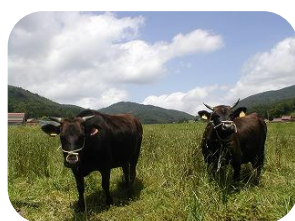
★ 広島県からのお知らせ ★ ～家畜改良増殖法に基づく立入検査～

令和2年10月の法改正を受け、農林水産省（中国四国農政局）による家畜人工授精所への立入検査が義務化されました。広島県内では、令和4年12月中旬から本格的な立入検査を実施しています。

家畜人工授精所の協力の下、令和7年2月末時点で、全体の **80%にあたる 60 件** の立入検査が完了し、来年度は2巡目に入る予定です。なお、これまでの立入検査にて、口頭注意等が多かった事項は次のとおりです。

- ① 使用済み精液（受精卵）証明書裏面の記入：不受胎時の情報（注入や移植日、注入や移植雌牛）が記入されていない 等
 - ② 譲渡等記録簿等の記入：精液採取年月日や精液証明書番号が記入されていない 等
 - ③ 授精証明書の記入：授精証明書の写しの保管がない、授精証明書番号がない（任意の通し番号を付す必要あり） 等
- 引き続き、家畜改良増殖法の遵守に御理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

Instagram、フェイスブックで広島和牛の話題を世界中に発信中！フォロー・いいね！お願いします！！(^^)！



右のQRコードからご覧いただけます。スマートフォンの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です！



広島和牛 NEWS は Web で閲覧できます！！⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

右のQRコードから広島和牛 NEWS パックナーをご覧ください。スマートフォンの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です。



次回は、
令和7年4月16日発行予定！